

2022年11月期 決算説明会



イーサポートリンク株式会社

2023年1月27日

 **E-supportlink, Ltd.**

証券コード 2493



INDEX

- 2022年11月期 連結決算概要
- 取り組み状況について
- 2023年11月期 連結業績見通し

2022年11月期 連結決算概要

E-supportlink, Ltd.

売上高は約6.5%減、営業利益は214百万円計上で収益回復

	実績	前期比
売上高	4,850 百万円	336百万円減
営業利益	214 百万円	309百万円増
経常利益	217 百万円	344百万円増
親会社株主に帰属する 当期純利益	155 百万円	1,097百万円増

2022年11月期 連結損益計算書



単位：百万円

	2021年11月期	2022年11月期		
	実績	実績	前期増減	前期比
売上高	5,187	4,850	△336	93.5%
売上原価	3,225	3,028	△197	93.9%
売上総利益	1,961	1,822	△139	92.9%
販売管理費および 一般管理費	2,056	1,608	△448	78.2%
営業利益	△95	214	309	—
経常利益	△126	217	344	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△942	155	1,097	—
一株当たり 当期純利益（円）	△212.92	35.12	—	—

※百万円未満切り捨て。縦計、横計の合計値が合わない場合がございます。

2022年11月期 連結貸借対照表



単位：百万円

	2021年 11月期末	2022年11月期		
		実績	前期増減	前期比
現金	4,240	3,294	△945	77.7%
ソフトウェア	217	247	29	113.6%
投資有価証券	428	425	△3	99.3%
資産合計	6,123	5,490	△633	89.7%
負債合計	2,913	2,118	△795	72.7%
株主資本	3,212	3,368	155	104.8%
純資産合計	3,209	3,371	161	105.0%
負債・純資産合計	6,123	5,490	△633	89.7%

※百万円未満切り捨て。縦計、横計の合計値が合わない場合がございます

2022年11月期 連結キャッシュフロー計算書



単位：百万円

	2021年11月期	2022年11月期
税引き前利益	△695	128
減価償却費及び償却費	308	117
営業活動によるC F	288	△ 504
投資活動によるC F	△184	△ 171
有利子負債増減	1,257	△ 261
財務活動によるC F	1,226	△ 270
現金及び現金同等物の増減額	1,329	△ 945

※百万円未満切り捨て

単位：百万円

	2020年11月期	2021年11月期	2022年11月期	前期比
売上高	4,512	3,848	3,238	15.9%減
営業利益	1,463	1,067	1,219	14.2%増

セグメントの概況

- 輸入青果物サプライチェーン事業は、リソースの再配置・オペレーションの生産性の向上により運営体制を再構築
- 生鮮MDシステム事業は、堅調に推移。量販店グループ各社への導入を継続
- ドラッグストア向け青果売場構築支援事業は、導入・運営の効率化を図り、事業拡大の取組みを継続
- es-Marché（エスマルシェ）事業は、2022年7月に大手食品スーパーに導入。拡大に向けた営業活動を展開

	単位：百万円			
	2020年11月期	2021年11月期	2022年11月期	前期比
売上高	1,141	1,338	1,612	20.4%増
営業利益	△129	△118	△ 127	—

セグメントの概況

- りんご販売は、全国的な収穫量の減少で集荷量を確保できず低調
- 国産青果の取り扱い商材の拡大により、売上高は伸長
- 有機農産物販売は、主力の輸入有機商材で一時供給網の混乱などがあったものの、新規商材の伸長で拡大

取り組み状況について

E-supportlink, Ltd.

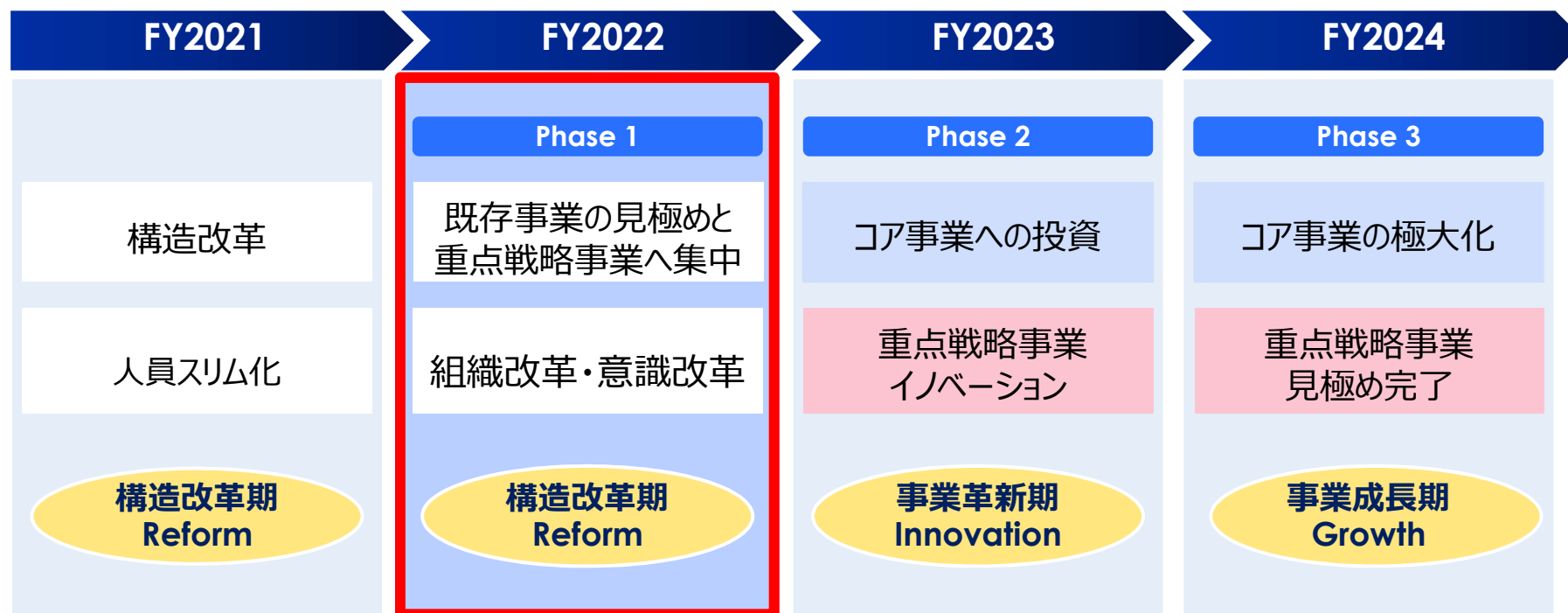
事業構造改革

取り組みの背景

- 取引契約の見直しによりコア事業における一部顧客が離脱
- 持続可能な事業基盤を再構築すべく早期着手

「新生イーサポートリンク」へ向けた基盤整備

持続的成長へ



1 収益基盤強化

輸入青果物サプライチェーン事業の再構築

人員・拠点体制業務の再配置

2 構造改革

事業規模にあわせた体制づくり

希望退職募集・組織再編、役員報酬等の減額

3 事業強化

小商圈ビジネスの確立・拡大

地域貢献、地産地消の流通

4 事業強化

環境配慮型事業の追求

物流効率化、生産事業

業務体制の再構築は完了、生産性向上の取組みは継続

中長期安定収益基盤としての構造改革と業務効率化による生産性向上

ローコストオペレーションの追求

具体的取り組みの進捗

拠点体制再構築

- 福岡事業所閉鎖による合理化

完了

業務受託体制の見直し

- 業務内容見直し
- 収益性の精査
- 業務再配置

完了

生産性向上への取組み

- コア・定型業務切り分け
- RPA導入、自動化

継続

当期のテーマ

国産含む新市場挑戦

主要顧客との契約獲得

組織再編・人員体制は整備完了

輸入青果物SC事業の縮小に伴う全社体制の見直し

全社リソースの最適化

具体的取り組みの進捗

人員のスリム化

- 70名規模の希望退職募集

完了

組織の再編

- 意思決定のスピードアップ
- 事業間シナジーの追求

完了

全社コストの合理化

- 役員報酬の減額
- 経費の削減

完了

取組みは終了、事業の推進に注力

地域

持続可能な地域社会づくりに貢献する小商圈流通の構築

背景

政策	地産地消の促進（六次産業化・地産地消費）
自治体	地域活性化
小売量販店	顧客ロイヤルティ（鮮度、差別化）の向上
生産者	価格決定権の確保、独自性のアピール
生活者	商品満足度の向上

青果売場の運営をサポート

青果売場構築支援

- ノウハウのない業態の青果売場をトータルコーディネート
- 『商流管理』 & 『運営支援』

ワンストップ購買ニーズ対応

地場野菜調達をサポート

es-Marché（エスマルシェ）

- 生産者と小売のコミュニケーションツール・決済代行サービスを提供
- 『システム』 & 『業務代行』

近隣生産者の出口戦略

環境

生鮮流通における環境視点のビジネス展開

- 物流の効率化による環境負荷低減

社内プロジェクト

- 環境保全型農業である有機栽培の推進により、持続可能な農業の実現に寄与

(株) シェアガーデン／千葉

オーガニックファームつくばの風（有）／茨城

- 流通インフラが整っていない有機農産物に対し、生産・流通・販売の一気通貫の支援事業を計画

(株) オーガニックパートナーズ

2023年11月期 連結業績見通し

E-supportlink, Ltd.

売上高は回復、営業利益は167百万円を計画

単位：百万円

	2021年11月期	2022年11月期	2023年11月期 計画	前期比
売上高	5,187	4,850	5,023	172 (3.5%) 増
営業利益	△95	214	167	47 (22.0%) 減
経常利益	△126	217	173	44 (20.5%) 減
親会社株主に帰属する 当期純利益	△942	155	120	35 (22.6%) 減

本資料における注意点

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

＜ 本資料ならびに I R 関連のお問い合わせ先 ＞

イーサポートリンク株式会社 経営企画室 I R 担当

T E L : 03-5979-0784 / E mail : IR@e-supportlink.co.jp